

浜松歯科衛生士専門学校 学校だより

学校に架かる橋から見える木々も芽吹き始め、暖かな風と共に春の訪れを感じる季節となりました。1年生2年生たちは、次の学年への期待や不安を抱きつつ、1年間の成長を喜んでいる様子が見られます。3年生は、長いようで短かった3年間を振り返りながら集大成である国家試験に臨み卒業を迎え、いよいよ4月から夢を実現し歯科衛生士としてスタートを切ることになります。

この1年間学生たちへ多くのご支援を賜り、心より感謝申し上げます。



スクーリング (10月)

時間を大切に 1年 川田 姫万梨

この1年間の学校生活は、私にとって非常に充実したものでした。入学後、初めての専門的な学びに対する期待と不安が入り混じる中、授業が始まりました。解剖学や薬理学などの基礎的な知識から、歯石除去や印象採得などの本格的な実習も始まり多くのことを学ぶことができました。

特に印象に残っているのは、セメスター試験です。私は勉強することが得意ではなく、前半に受験したセメスター試験では思うような結果が出せませんでした。後半のテストに向けて勉強方法を見直して、わからないところは友人に聞いたり、先生方にアドバイスをいただき、コツコツ勉強しました。努力のいかもあり、全ての教科を一発合格することができました。2年、3年と学年が上がることさらに専門的な難しい授業も増え臨床実習などの両立もしなくてはなりません。歯科衛生士になるという夢をかなえるため教訓を生かして、限られた時間を大切にすごしていきたいと思えます。



課題研究発表会 (10月)

課題研究発表会



口腔機能検査 (9月)



クリスマス会 (1年生)



パロック音楽 (12月)



恩返しを 3年 杉田 涼

この3年間は、長いようで短かったという間でした。その中でも一番に心に残っているのが国家試験のために日々努力を重ねた時間です。約1年間の歯科医院や病院、施設等での実習を終え、11月から本格的に国家試験の勉強がスタートしました。模擬試験を繰り返す中、自分の苦手な部分に気づき、何故今までもっと勉強してこなかったのかと悔しい思いをすることがたくさんありました。少しでも高い点数を取りたいという気持ちが強くなり、あたりまえのように毎日勉強をするようになりました。国対班では一つ一つの問題を細かく掘り下げて調べ、理解を深め合い、毎日遅くまで学校に残って勉強しました。くじけそうな時は担任の先生や学校部の先生方からの温かい言葉に励まされました。安心して勉強に取り組める環境を与えてくれた両親にも心から感謝しています。そんな支えてくれる人達に必ず恩返しができるよう目標である40期生全員で国家試験合格をかなえたいです。



クリスマス会 (3年生)



いよいよ4月から 2年 鈴木 慈

2年生になり、すぐに健康教育、その後並行して患者実習の準備が開始され、目まぐるしい日々が始まりました。患者実習では家族に患者役になってもらい保健指導やスクーリングを行いました。自分自身が成長した姿を見せることができるか、楽しみにしている母の期待を越えることができるか、不安だけ待ち遠しいそんな心境でした。その後、宣誓式を行っていただき、気持ちをさらに引き締めて臨地臨床実習が始まりました。学校の実習だけでは学べない知識や実技の面で成長できるよう積極的に学び、3年生の実習に繋がるようにしたいです。

いよいよ4月から3年生です。日々努力を惜しまず、実習先でのご指導いただく先生方、学校の先生、支えてくれる家族への感謝を忘れず精一杯頑張りたいです。



医療安全 (12月)



クリスマス会 (2年生)



高齢者体験授業 (11月)